


一般の人にとっての デジタルアーカイブ

J22102 渡邊快優



デジタルアーカイブのメリット

- 劣化しない
- 場所を問わずに閲覧できる
- 資料を探しやすい


↓ 一般の人からしたら・・・

- どれもあまり関係ない、そもそも存在を知らない

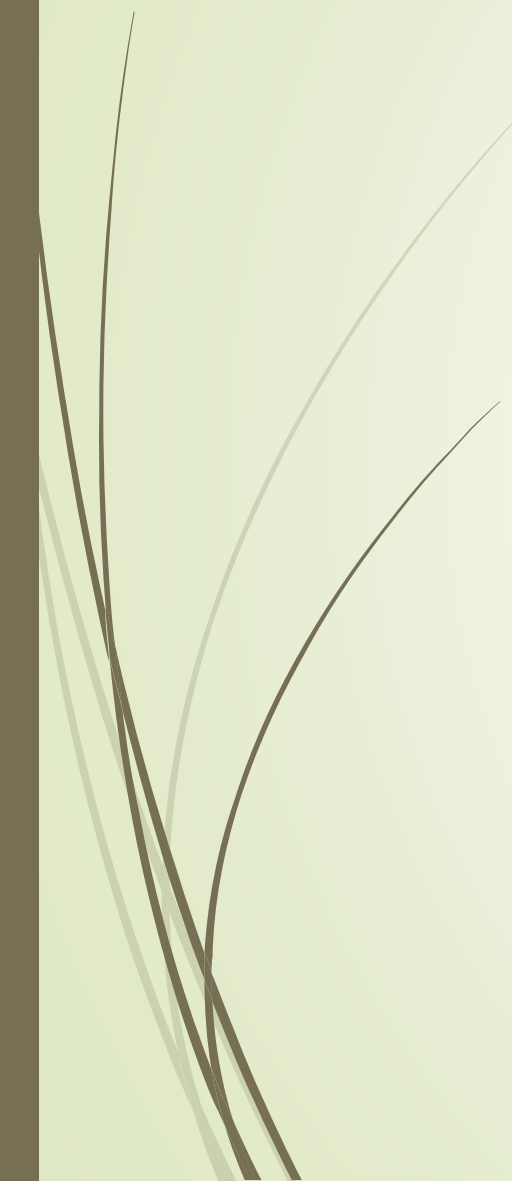


デジタルアーカイブの問題点

- 認知度が低い！
 - ほとんどの一般の人はデジタルアーカイブを認知していない
- 



なぜ認知度が低いのか

- 知る機会が無い
 - 宣伝されていない
 - 普段から必要としている人が少ない
- 

知ってもらうには

▶ 図書館での宣伝

- ・本を読まない人からしたらデジタルアーカイブは使う機会があまりない
- ・図書館で資料を探す人達からすれば活用することで作業効率が高まる

▶ デジタルアーカイブ学習

- ・小さい頃から学習することで活用することが普通のことになる
- ・学習の機会が無ければデジタルアーカイブという単語すら知らずに成長する

▶ 身近なものだと認識して貰う

- ・デジタルアーカイブを難しいものと感じやすい
- ・ネットで検索し閲覧できるものがデジタルアーカイブであり身近なものを知ってもらう。

実際のデジタルアーカイブの認知度、利用 度増加アイデア

オープンデータ化した地域資料の利活用を通じて大阪の魅力を発信(大阪市立中央図書館)

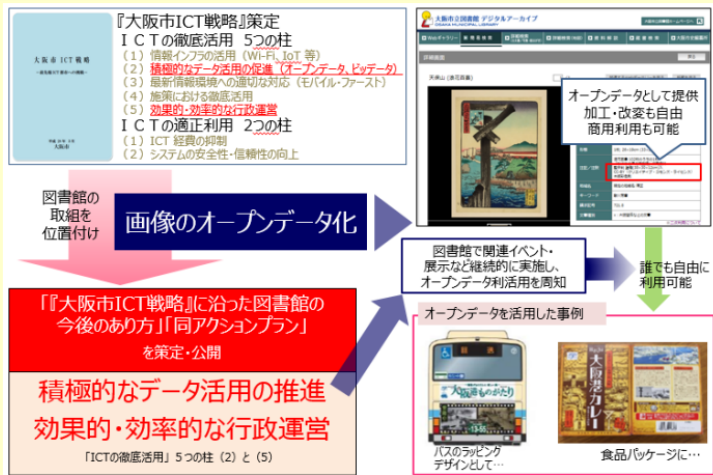
優秀賞

地域資料のオープンデータを使って、新たな地域情報・ビジネスを創出！
(#大阪オープンデータ)

【課題と現状】

- ▶ 図書館の取組を「大阪市ICT戦略」に位置付けが必要
- ▶ 劣化の激しい古文書資料の保存と情報活用のために公開している大阪市立図書館デジタルアーカイブの二次利用の申請が煩雑、事務が膨大

- ▶ 「『大阪市ICT戦略』に沿った図書館の今後のあり方」「同アクションプラン」を策定
- ▶ 地域経済に資することを目的にデジタルアーカイブのコンテンツの中から著作権が消滅した地域資料をオープンデータとして提供、更なる利活用に向けて広報拡大



デジタルアーカイブの認知度・利活用の増加、行政事務の効率化

アクセス数の推移

大阪市立図書館デジタルアーカイブ		
トップページアクセス数 (件)		
平成27年度	平成28年度	平成29年度
27,593	43,495	77,948
大阪市立図書館ホームページ		
トップページアクセス数 (件)		
平成27年度	平成28年度	平成29年度
7,143,904	7,776,748	8,661,952

デジタルアーカイブは
約2.8倍!!
平成27年度比

二次利用申請数

二次利用申請 (件)		
平成27年度	平成28年度	平成29年度
129	118	49

62%減!!
平成27年度比

オープンデータを使って
・新たなビジネスの創出
・新しい地域情報・資源の作成

市民のシビックプライドを高める
「大阪への愛着」

総務省
デジタルアーカイブの認知度・
利活用の増加、行政事務の効率
化より


まとめ

- ▶ デジタルアーカイブを一般の人にも広く認知し活用して貰うには現状宣伝が足りない
- ▶ 高齢者や中高年層はそもそもデジタル化について行けていない人が多い



これから活用していくであろう若者むけの教育や宣伝が重要

- ▶ 活用して貰うにはまずデジタルアーカイブが身近なものだと認識して貰う



参考文献

- ▶ https://www.soumu.go.jp/main_content/000641312.pdf
- ▶ <https://jdaa.jp/digital-archives>
- ▶ [「デジタルアーカイブ」とは？ 今さら聞けない文書電子化の基本 - Knowledge Climber 能登印刷株式会社 \(notoinsatu.co.jp\)](#)